

伯耆の古墳

伯耆地域では

鳥取県の中・西部に相当する伯耆地域では、総数6500基以上の古墳が知られています。このうち東伯耆では、東郷湖を中心とする地域(湯梨浜町)に古墳が密集しています。橋津4号墳や宮内狐塚古墳・北山古墳といった県下最大級の前方後円墳の存在からは、この地域が政治的に中心となる場所であったことがわかります。

西伯耆では淀江平野周辺(米子市)や手間平野周辺(南部町)が古墳密集地域として知られています。両地域とも大型の前方後円墳や横穴式石室があるなど、古墳時代を通じて有力な首長がいたことが窺えます。また大山町の日本海沿岸部には、県内における切石造横穴式石室の3/4が集中しており、この地域の後期古墳の大きな特徴となっています。



倉吉市向山142号墳出土土埴輪



大山町ハンバ塚古墳出土土埴輪



米子市石州府古墳群



むなかた こぶんぐん

◆宗像古墳群◆ 北部九州との交流

米子市宗像

宗形神社背後の丘陵部にある古墳群で、3基の前方後円墳を含む11基からなります。このうち1号墳は全長37mで、直径28mの後円部に2基の横穴式石室を持っています。第1石室は長さ3.2m、奥壁の幅2.0mの割石積み両袖式で、円頭柄頭・直刀・銀環・金銅製帯金具・玉類・須恵器などの副葬品が出土。また北側の第2石室では、直刀・銅鈴・水晶製切子玉などがありました。この古墳群は出土遺物から6世紀代をとおりて形成されたと考えられています。



山陰道米子南ICから車で1分
(バス)「宗形」下車 徒歩5分

◆福市考古資料館◆

国史跡福市・青木遺跡に隣接する資料館で、同遺跡のほか、米子市内から出土した資料が展示されています。



入館料:無料 開館時間:午前9時30分~午後5時
休館日:火曜日および国民の祝日の翌日・年末年始
お問い合わせ:0859-26-3784

いんだ 1ごうふん

◆陰田1号墳◆ 県内最大規模の大横穴墓群

米子市陰田町

陰田古墳群は島根県との県境に近い丘陵上にある古墳群で、前方後円墳を含む59基の古墳群があります。古墳は中期~後期の円墳が主で、このうち1号墳は横穴式石室を見学できます。また6世紀後半~8世紀にかけて50基ほどの横穴墓がつくられたことも知られています。



山陰道米子西ICから車で5分

せきしよ 1ごうふん

◆石州府1号墳◆ 巨石を用いた横穴式石室

米子市石州府

1号墳は大山西麓の丘陵地に展開する石州府古墳群のなかにあります。直径42m、高さ6mという規模で、岸本7号墳に次ぐ大きさです。南に面した横穴式石室は巨石を用いてつくられ、玄室の奥行4.6m、奥壁の幅2.8m、高さ3.1mと大きなものです。



山陰道米子東ICから車で10分

きしもと7ごうふん
◆岸本7号墳◆ 県内最大級の円墳 町指定
伯耆町岸本

日野川右岸にある岸本古墳群の中心をなす古墳です。直径45m、高さ5mの大型円(方)墳で、県内では最大級のもので。

内部には両袖式の横穴式石室があり、玄室の奥行き2.7m、奥壁の幅2.3m、高さ2.15mを測ります。奥壁・側壁・天井は各1枚の板石で構築され、隙間には小さな割石が詰められています。

副葬品は見つかっていませんが、墳丘上で須恵器が出土しています。



JR岸本駅から徒歩15分

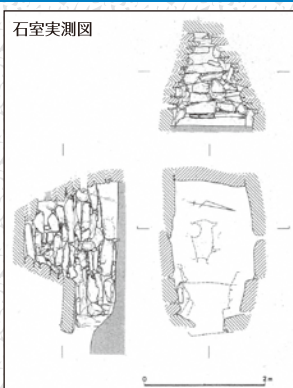


JR岸本駅から徒歩30分

かいだ 1ごうふん
◆貝田1号墳◆ 日野郡を代表する横穴式石室 町指定
江府町貝田

貝田集落の東北約600mの林にある直径8.5mの円墳で、両袖式の玄室が残っています。玄室の奥行きは2.2m、高さ1.5mで小型の石材を積み上げ、壁が内側に傾斜しています。すでに副葬品は持ち出され、残っていませんでした。

日野川上流域、中国山地に位置する日野郡は、鳥取県の面積の1/5弱を占めますが古墳は少なく、大半が後期古墳です。この地域の横穴墓には、玄門の左右に柱状の石をたてるなどして天井石を載せるものがあり、ひとつの特徴となっています。



米子道江府ICから車で15分

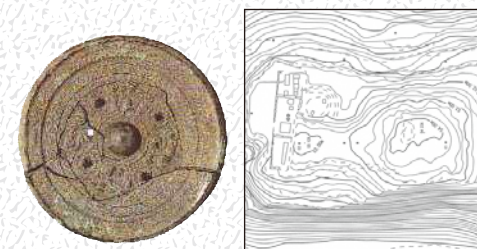
よしさだ 1ごうふん
◆吉定1号墳◆ 横穴式石室導入期を探索 町指定
伯耆町吉定

日野川右岸、細見神社境内にある直径約10mの円墳で、横穴式石室が南側に開口しています。石室は両袖式で腰石上に扁平な石を小口積みされています。また壁全体が赤く塗られています。玄室は奥行き5.8m、奥壁の幅2.3m、高さ1.9m。羨道は一部埋没しています。

こうした特徴は初期の横穴式石室に見られるもので、本県における横穴式石室の受け入れを考える上で貴重です。また、石室内から、鉄刀や須恵器が出土しています。

ふだんじ こふんぐん
◆普段寺古墳群◆ 県内最古の前方後方墳 町指定
南部町寺内

大安寺西南の丘陵上に、7基の古墳が並んでいます。この北端には全長23mの前方後方墳(1号墳)があり、後方部から鏡・管玉・剣が出土しています。このうち鏡は三角縁唐草文帯二神二獣鏡と呼ばれるもので、安来市大成古墳などと同型です。



山陰道米子西ICから車で15分

うしろさこやま こふん
◆後塔山古墳◆ 当時の姿がよみがえる人物埴輪 町指定
南部町諸木

諸木集落の後方台地上にある前方後円墳で、全長55m、後円部の直径は32mあります。ここは盗掘を受けているものの、墳丘の保存状態は良好です。また埋葬施設は不明ですが、円筒埴輪や人物埴輪が出土しています。人物埴輪には三角帽子をかぶり、耳の辺りから巻いた髪が長くたれたものと、丸つばの帽子をかぶったものがあります。中期後半ごろの古墳と考えられています。



とのやま こふん
◆殿山古墳◆ 伯耆の英雄、ここに眠る 町指定
南部町三崎

殿山丘陵上にある前方後円墳で、全長108m、後円部の直径は58mあります。埋葬施設は不明ですが、墳形から中期ごろと考えられます。その規模からこの地域で権力をもった首長が葬られているのでしょう。山陰最大級の規模を誇る古墳です。



山陰道米子西ICから車で15分



山陰道米子西ICから車で15分



人物埴輪

むこうやま こふんぐん

◆向山古墳群◆ 淀江の首長墓が集う

米子市淀江町福岡

国指定

高麗山北麓に広がる淀江平野の東方丘陵には、総数90基ほどの古墳群があります。そのうち向山古墳群は全長400mの独立丘陵を中心につくられた14基の古墳群です。狭い丘陵上に向山3・4号墳や岩屋古墳・長者ヶ平古墳などの前方後円墳8基、方墳1基があります。また南側丘陵部には石馬谷古墳があるなど、西伯耆の代表的な前方後円墳が密集しており、5～7世紀におけるこの地域の首長系譜をたどることができます。また向山古墳群の近くには弥生時代の妻木晩田遺跡、奈良時代の上淀廃寺跡が存在するなど、鳥取県の歴史を考える上で、非常に重要な地域です。



JR淀江駅下車徒歩20分
山陰道淀江ICから車で5分

いしうまだに こふん

◆石馬谷古墳◆ なぜここに？本州唯一の石馬出土

米子市淀江町福岡

国指定



本州で唯一の石馬が出土したとされる古墳です。石馬は昭和34年に国の重要文化財に指定されました。体長1.5m、高さ0.9mで頭部と胴部はほぼ完存し、後脚も残るなど非常に保存状態のよいものです。九州との関連がうかがわれますが、石材は大山山麓に産する安山岩が使われています。



天神垣神社境内の収蔵庫で見ることができます。
(要申込)



湯梨浜町長瀬高浜遺跡からは古墳時代の馬墓があり、骨も残っていました。それと比較してもほぼ同じ大きさであることから、この石馬は当時の馬の実物大であったと考えられます。



井手狭遺跡出土

◆上淀白鳳の丘展示館◆

上淀廃寺の壁画、稲吉角田遺跡から出土した弥生時代の絵画土器など、淀江から出土した一級の資料が展示されています。

入館料：有料
(大人310円、
大学・高校生160円
中学生以下無料)
お問い合わせ：
0859-56-2271

JR淀江駅から徒歩20分
山陰道淀江ICから車で5分

いわや こふん

◆岩屋古墳◆ 切石造りの石室は必見！

米子市淀江町福岡

国指定

向山丘陵の北東端にある、全長48mの前方後円墳です。後円部に築かれた全長9mの大型切石造横穴式石室は、この地域を代表する石室です。また後円部東裾部からは人物・水鳥・馬形埴輪などが出土しています。6世紀後半頃の築造と考えられています。



かみのやま こふん

◆上ノ山古墳◆ 豊富な副葬品が出土

米子市淀江町福岡

天神垣神社裏山にある前方後円墳です。全長は35mで墳丘に葺石があるほか、家形・盾形・円筒埴輪などが出土しました。後円部には竪穴式石室が2基あり、各石室からは三角板革綴短甲や衝角付冑、鉄剣、内行花文鏡、500点以上の勾玉や管玉が見つかりました。中期後半頃築造された古墳と考えられます。



ちようじゃがなるこふん

◆長者ヶ平古墳◆ 金冠を戴く王者の墓

米子市淀江町福岡

向山丘陵の南西端にある、全長64mほどの前方後円墳です。後円部には両袖式の横穴式石室があり、箱式石棺も確認されています。石棺からは人骨のほか、金銅製冠、環頭太刀などが出土しました。冠は大陸色の強いものとして注目されます。



みやうち こふんぐん

◆宮内古墳群◆ 県内屈指の古墳密集地

大山町宮内田中山

高麗山東麓に展開する、前方後円墳3基を含む108基の古墳群です。県内屈指の密集度を誇ります。このうち1号墳は直径25m、高さ3.5mの円墳で、北西に開口する両袖式の横穴式石室があります。玄門は中央部を方形に刳り貫いています。また1号墳の北にある2号墳は全長31mの前方後円墳で、長さ3.3m、幅2.0m、高さ2.0mの切石造の石室があります。



山陰道淀江ICから車で15分

ばんだやま31こふん

◆晩田山31号墳◆ 上淀廃寺との関連に注目！

米子市淀江町福岡

晩田山古墳群にある、一辺が18mの方墳です。盗掘により大きく破壊された切石造の横穴式石室が残っています。出土遺物から古墳時代終末頃の築造とみられ、南方500mにある上淀廃寺との関連が推測されています。



おすすめ見学コース

- 向山古墳群
(伯耆古代の丘公園)
- 上淀白鳳の丘展示館
- 上淀廃寺跡

いわやなるこふん

◆岩屋平ル古墳◆

保存よし、町内を代表する石室です。 **県指定**

大山町八重笠場谷

八重集落の南側に広がる丘陵上に位置する、直径21m、高さ3.5mの円墳です。切石造りの横穴式石室で、玄室の奥行は3.2m、奥壁の幅2.2m、高さ1.8mのものです。石室の残りはよく、この地域の代表的な古墳です。



いわやどう こふん

◆岩屋堂古墳◆

集落内に残る古墳

大山町岡

岡集落のなかにある全長29mの前方後円墳です。墳丘を削られ、横穴式石室の一部が露出しています。玄門は自然石を立てた両袖式で、外側から扉石上の板石で閉ざされ、羨道は埋没しています。玄室は奥行3.3m、奥壁の幅2.2m、高さ2.2mで、壁面は赤く塗られています。

大山北麓から東麓にかけては県内で数々の切石造横穴式石室が密集する地域といえるでしょう。これらの石室は角閃閃安山岩が利用されていますが、これは大山北麓に産するもので、豊富な石材が獲得できたことがひとつの背景になっていると考えられます。



JR下市駅から徒歩20分

たかだ26こうふん

◆高田26号墳◆

巨石を使った石室 **県指定**

大山町上高田

墳丘をほとんど失っており、切石造りの横穴式石室が露出しています。玄室は奥行2.5m、奥壁の幅1.6m、高さ1.7mで、玄門は板状の切石を立てた両袖式です。

個人宅内にありますので、見学を御希望の際は予め、大山町教育委員会(0859-54-5212)にお問い合わせください。



山陰道淀江ICで車から15分

はしづ こふんぐん

◆橋津古墳群◆

日本海を望む王陵 **国指定**

湯梨浜町上橋津ほか



橋津4号墳出土品(湯梨浜町羽合歴史民俗資料館)



山陰道はわいICから車で10分

ここに注目!
東伯耆を代表する古墳時代前期の古墳群。隣接する平野部には、同じく古墳時代前期の大集落として知られる長瀬高浜遺跡があります。

海浜に面した小高い丘の上にある古墳群です。5基の前方後円墳と19基の円墳があります。別名を馬の山古墳群といいます。

このうち、橋津4号墳は4世紀に造営された東伯耆を代表する大型前方後円墳(推定全長110m)です。昭和31年に、後円部中央部にある竪穴式石室や箱式石棺、後円部東斜面の円筒埴輪棺、前方部平坦部の箱式石棺、埴製円筒棺の発掘調査が行われました。竪穴式石室は板石を15段ほど積み上げて造られており、室内は深紅に彩られていました。室内には割竹形の木棺があり、中国製の三角縁神獣鏡や日本製の画文帯環状乳神獣鏡やヒスイ製の勾玉、車輪石等の石製腕飾、棺外には刀剣類が副葬されていました。また、この他の埋葬施設からも、数多くの貴重な副葬品が出土しています。橋津4号墳の出土品は湯梨浜町羽合歴史民俗資料館に展示されています。

おすすめ見学コース

- 湯梨浜町羽合歴史民俗資料館 (車で10分)
- 橋津古墳群 (車で10分)
- 宮内狐塚古墳 (車で10分)
- 北山古墳 (車で10分)

ながせたかはま いせき

◆長瀬高浜遺跡◆

砂の下に眠る古墳時代の大集落と古墳群

湯梨浜町はわい長瀬

天神川左岸の砂丘下に眠る県内有数の遺跡です。古墳時代の集落跡と古墳群が発見されました。長瀬高浜遺跡では、古墳時代前期に盛期を迎える集落が中期になって衰退を始めると共に、古墳の築造がはじまります。

遺跡中最大の古墳は、現在、浄化センターのそばに移築復元されている長瀬高浜1号墳です。直径24mの円墳で、墳丘は川原石を用いた葺石で覆われていました。墳丘中央部にある箱式石棺内からは、額に豎櫛がおかれた女性人骨と、副葬された直刀が見つっています。直刀は木製の鞘に納められ、布と紐紐にくるまれていたようです。

また、遺跡の北東隅でみつかった土坑からは、甲冑、盾、家形の形象埴輪や円筒埴輪、朝顔形埴輪など約7,000点(国指定重要文化財)が出土しています。これから古墳に並べられようとする埴輪が一箇所にまとめられていたのかもしれません。



山陰道はわいICから車で5分



長瀬高浜1号墳

みやうちきつねづか こふん

◆宮内狐塚古墳◆

東郷池を望む大型前方後円墳

湯梨浜町宮内

東郷池東岸にある大型前方後円墳(全長95m)。東郷池に前方部を突き出すように築造されています。戦国時代には、背後の御冠山に陣をはった羽柴の軍勢が、古墳上に櫓を建てたという伝説があります。



泊東郷ICから車で20分



◆湯梨浜町羽合歴史民俗資料館◆

橋津古墳群や長瀬高浜遺跡から出土した弥生時代前期、古墳時代などの貴重な出土品が展示してある。国の重要文化財に指定されている埴輪は必見。



入場料:大人100円
開館時間:午前9時～午後4時30分
休館日:12/31～1/5
お問い合わせ:0858-35-3111

山陰道はわいICから車で5分

きたやま こふん

◆北山古墳◆

山陰最大の前方後円墳

国指定

湯梨浜町野花ほか

東郷池南岸の丘陵に展開する北山古墳群の盟主墳として知られる古墳時代中期の大型前方後円墳(全長110m)です。正式には北山1号墳ですが、北山古墳といえば、この前方後円墳を指します。

東郷池の南を通る県道からも、その大きな墳丘の前方部と後円部の高まりをみることができます。

昭和41年に行われた発掘調査では、後円部に築かれた箱式石棺や排水用の暗渠や礫床などが見つかりました。かなり古くに盗掘されており、中心にあった石室は破壊され、副葬品は持ち去られていましたが、箱式石棺の中からは、埋葬された人骨や、「尚方作」の銘文のある中国製の盤竜鏡(竜虎鏡)、6本の鉄刀、勾玉、管玉などの副葬品が出土しました。

また、昭和51年には、近隣の畑耕作中に北山古墳の東側にある円墳から神獣鏡が掘り出されています。



北山古墳は山陰随一の墳丘規模を誇る大前方後円墳です。

泊東郷ICから車で10分

さんみょうじ こふん

◆三明寺古墳◆

山陰屈指の石室

国指定

倉吉市巖城寺山

小鴨川左岸から市街地を見下ろす向山丘陵には600基近い古墳からなる向山古墳群があります。この古墳群にある三明寺古墳は、山陰屈指の石室を誇る古墳時代後期の古墳です。地元では岩屋と呼ばれ親しまれています。山名寺横の参道を登ると、南向に開口した山陰地方最大級の横穴式石室があらわれます。古墳時代後期の円墳(直径18m)で、全長8.3mの石室は切石作りの両袖式で、奥壁に巨大な1枚岩、玄門に2枚の平石が立てられており、玄室の奥壁にそって板石を組み合わせた石の囲いがあります。この石囲いは、九州によくみられる「石屋形」との類似性が指摘されています。小鴨川を挟んで対岸にある国史跡大御堂廃寺を建立した氏族との関連がうかがわれます。



倉吉駅から車で10分



ふくば こふん

◆福庭古墳◆

式内社境内に残る横穴式石室

県指定

倉吉市福庭

倉吉駅北側の丘陵にある波波伎神社の境内にある円墳(直径35m)です。

精美な切石積みの横穴式石室の全長は3.9m、奥壁、両壁に大きな切石を立て、その上に一枚岩をかけて天井石としています。玄門は左右に2枚の板石を立てる両袖式です。玄門上の小天井石にはホゾ穴が加工しており、そこに玄門の石がはめ込まれています。玄門近くの玄室床面には、仕切石で遺体を安置する区画がしてあり、玄室の手前に前室を設け副室構造をとるなどの特徴があります。また、玄室の奥壁上部の石材には、赤い顔料で3本の平行線が引かれ、その間に鋸歯文が描かれています。

出土遺物はなく、石室の構築方法から古墳時代終末期の築造と推定されています。



ここに注目!

波波伎神社の社叢は国の天然記念物に指定されています。高木の8割はスダジイで占められており、胸高直径1.5m、高さ20mにおよぶ巨木が密集しています。

倉吉駅からバス橋津線で10分、福庭北高前で下車、徒歩10分

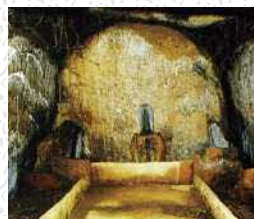
むこうやま 6ごうふん

◆向山6号墳◆

仕切石によって区画された石室

倉吉市巖城

竹田川・小鴨川を見下ろす向山古墳群にある、東伯耆最後の前方後円墳(全長40m)。後円部に切石を交えない両袖式の横穴式石室があります。玄室の床面に特徴があり、仕切石で箱式石棺上の区画が設けられています。舶来の緑色ガラスが出土しています。



倉吉駅から田内神社まで車で10分、徒歩15分

こくぶんじこふん

◆国分寺古墳◆

3面の中国鏡が出土した前期古墳

市指定

倉吉市国府

国府川左岸にある前方後円墳(推定全長60mの前方後方墳ともいわれる)。現在の国分寺本堂裏手にあります。大正11年に粘土槨がみつかり、鏡3枚、鉄剣3〜4振、鉄斧、鉄鍬などが出土しました。鏡はいずれも中国製で、き鳳鏡、三角縁神獸鏡、斜縁二神二獸鏡です。出土した副葬品はいずれも国の重要文化財に指定されています。



倉吉駅からバス社線(倉吉農高行)で15分、国府下車、徒歩5分

うえの いせき

◆上野遺跡◆

土坑内に樹立していた持壺形須恵器群

倉吉市三江

山上にある土坑から、5列に整然と並べられた子持壺形須恵器、脚付子持壺形須恵器が出土しました。信仰に関連した祭器でしょうか。これらの須恵器は現在、倉吉博物館で展示公開されています。国の重要文化財。現地も見学可。



倉吉駅からバス大河内線30分、三江で下車、徒歩5分

おおみや こふん

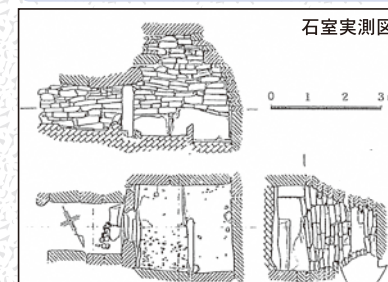
◆大宮古墳◆

華麗なドーム型天井の石室

市指定

倉吉市大宮

広瀬川と小鴨川が合流する左岸の河岸段丘の上にある古墳です。墳丘は一部が削り取られています。調査の結果、直径25m程度の円墳であることがわかりました。石室は、両袖式の横穴式石室(全長5.2m)です。石室の基底部に厚めの板石を立て、その上に小振りな板石を小口積みしながらドーム状に積み上げ、その上に天井石をのせています。また、玄室の入口に柱状の石を左右に立て玄門としています。玄室内には玄門下と奥壁から1mほどのところに仕切石が設けられており、銀環、鉄鍬、馬具、指輪状金製品などが副葬されていました。6世紀前半の築造と考えられ、鳥取県中部では最古の横穴式石室と考えられています。



倉吉駅からバス広瀬線で20分、大宮下車、徒歩5分



石室構造に九州との類似点
が認められる重要な古墳
です。

ここに注目!